

# 情報連絡員総括表（2024年3月）

## — 静岡県中小企業団体中央会 —

本書は、静岡県中小企業団体中央会が委嘱した情報連絡員〔協同組合等の役職員 60 名〕による毎月の景況調査の集計結果です。

1. 概況報告
2. 項目別の前月・今月のDI値の比較
3. 情報連絡員からの報告
4. 主要三指標におけるDI値の推移（グラフ）

### ・本調査の見方・

◎売上高等の9項目につき 前年同月と比較し、好転・不変・悪化 のいずれかを回答

$$DI \text{ 値} = [(好転組合数 - 悪化組合数) / 調査対象組合数] \times 100$$

※全項目が前年同月比「不変」となった場合は、DI値は基準値 ±0.0(=横ばい)で推移  
※「在庫数量」のみ、プラス値が高いほどマイナス要因と定義

## 1. 概況報告 （回答者数 60 名：回収率 100.0%）

○2024年3月のDI値は、前月との比較において、「売上高」「販売価格」「雇用人員」「業界の景況」の4指標が改善。その他5指標が悪化した。販売価格は8.3ポイント改善され、DI値は38.3ポイントを記録した。しかし、「設備操業度」は23.3ポイント悪化し、DI値はマイナス30.0を記録した。製造業から「輸入価格は2期連続の引き下げがあったが、その他輸送費、人件費等の高騰により小売価格は上昇している」とコメントがあり、非製造業から「長引く物価高の影響と消費者の節約志向により客単価が落ち込んでいる」と、物価の高止まりを背景とした状況悪化が見受けられる。

○「製造業」では、前月との比較において「販売価格」「取引条件」「業界の景況」の3指標が横ばいで、その他6指標が悪化した。特に「売上高」「資金繰り」「設備操業度」の3指標は20ポイント以上悪化し、金属製品業等を中心に外部環境に起因するコスト高騰分の適正な価格転嫁が進んでいないといったコメントがあった。

○「非製造業」では、前月との比較において「売上高」「販売価格」「収益状況」「雇用人員」「業界の景況」の5指標が改善し、1指標が横ばい状態、その他2指標が悪化した。特に「売上高」は36.6ポイント改善されているものの、DI値全体が10月以降増減を繰り返している状況である。特に道路貨物運送業においては、2024年問題に対応すべき運賃の上昇や従業員の賃上げ等を行ってきたが、人材不足に悩まされ新規案件の受注が行えていない状況にある。

(DI値)

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
2024年3月	-8.4	-11.4	38.3	-6.7	-28.3	-23.4	-30.0	-8.3	-23.3
2024年2月	-15.0	-13.6	30.0	-3.3	-25.0	-11.6	-6.7	-13.4	-28.3
増減	6.6 ↑	2.2 ↓	8.3 ↑	-3.4 ↓	-3.3 ↓	-11.8 ↓	-23.3 ↓	5.1 ↑	5.0 ↑

## 2.項目別の前月・今月のDI値の比較

		製造業				非製造業				全体			
		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減		DI値	増減	
売上高	2024年3月	-36.7	-23.4	ポイント	↓	20.0	36.6	ポイント	↑	-8.4	6.6	ポイント	↑
	2024年2月	-13.3				-16.6				-15.0			
在庫数量	2024年3月	-3.3	3.3	ポイント	↓	-28.6	0.0	ポイント	-	-11.4	2.2	ポイント	↓
	2024年2月	-6.6				-28.6				-13.6			
販売価格	2024年3月	30.0	0.0	ポイント	-	46.7	16.7	ポイント	↑	38.3	8.3	ポイント	↑
	2024年2月	30.0				30.0				30.0			
取引条件	2024年3月	0.0	0.0	ポイント	-	-13.3	-6.7	ポイント	↓	-6.7	-3.4	ポイント	↓
	2024年2月	0.0				-6.6				-3.3			
収益状況	2024年3月	-40.0	-13.4	ポイント	↓	-16.6	6.7	ポイント	↑	-28.3	-3.3	ポイント	↓
	2024年2月	-26.6				-23.3				-25.0			
資金繰り	2024年3月	-33.4	-20.1	ポイント	↓	-13.4	-3.4	ポイント	↓	-23.4	-11.8	ポイント	↓
	2024年2月	-13.3				-10.0				-11.6			
設備操業度	2024年3月	-30.0	-23.3	ポイント	↓	/				-30.0	-23.3	ポイント	↓
	2024年2月	-6.7								-6.7			
雇用人員	2024年3月	-23.3	-3.3	ポイント	↓	6.7	13.4	ポイント	↑	-8.3	5.1	ポイント	↑
	2024年2月	-20.0				-6.7				-13.4			
業界の景況	2024年3月	-26.7	0.0	ポイント	-	-20.0	10.0	ポイント	↑	-23.3	5.0	ポイント	↑
	2024年2月	-26.7				-30.0				-28.3			

## 今月の業種別回答件数

		売上高		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況	
		増加	減少	増加	減少	上昇	悪化	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	悪化	増加	減少	好転	悪化
製造業	食料品	0	1	1	1	1	0	1	0	0	1	0	2	0	2	1	1	0	1
	繊維工業	2	1	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	2	0	0	1	2	1
	木材・木製品	0	3	0	2	0	1	0	1	0	3	0	2	0	3	0	2	0	3
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1
	印刷	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0
	窯業・土石製品	1	2	1	0	3	0	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
	鉄鋼・金属工業	0	3	0	2	0	0	0	1	0	2	0	2	0	2	0	0	0	1
	一般機器	0	2	1	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	3	0	1	0	2
	電気機器	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	輸送用機器	3	2	3	0	3	0	2	0	0	1	1	1	3	1	0	3	1	1
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
非製造業	卸売業	2	1	1	1	2	0	0	1	1	1	1	1	X		0	0	0	1
	小売業	1	3	0	2	4	1	0	2	0	3	0	3			0	1	0	3
	商店街	3	1	0	2	4	1	0	1	1	1	1	1			0	1	1	2
	サービス業	4	0	X		2	0	1	1	3	1	2	0			2	0	2	1
	建設業	0	3			2	1	0	1	0	3	0	3			2	1	0	2
	運輸業	4	0	X		3	0	1	0	0	1	0	0			1	0	0	0

### 3.情報連絡員からの報告

#### 製造業

水産食料品	・生産設備のリニューアルの為、約半月操業停止した事で売上高は前年同月比を大きく下回った。それによる収益低下は計画に織り込み済みだったので影響があるとは認識していない。それよりも業界全体で原料確保が困難な状況にあり、今後も新しい生産設備の能力に見合った生産数量をどの様に維持していくかが課題と思っている。
パン	・令和6年4月からの輸入小麦の政府売り渡し価格は平均1トン当たり67,810円と前期比で0.6%引き下げられる。2期連続の引き下げとなるが、輸送費、人件費、他の部材が高騰しており小売価格の上昇は今後も避けられない見込みである。
織物業	・前月報告内容と同様に受注は安定して入ってきている。生産能力を増強が出来ない中、春～夏の比較的閑散期に平準化した生産をしつつ少しでも在庫増をしていきたい。
製材・木製品製造業	・建築資材や住宅建材などの価格高騰(木材製品を除く)の為に住宅着工数が伸び悩む中で、製材工場の稼働は何とかもちこたえている、という苦しい状況が続く。
骨材・石工品等	・売上は前年同期を上回り、収益も前期より好転しているが、コストも上がっており、厳しい状況は続いている。在庫は先月同様増加している。
金属製品	・原材料価格上昇が相次ぎ、燃料費の高止まりのコスト増が製品への価格転嫁が進まず、経営を圧迫している。ダイハツ、豊田自動織機の不祥事による生産停止が拍車をかけている。
生産用機械器具	・EV、再生可能エネルギー、労働生産性向上などに関連した需要が拡大しているものの、部材・エネルギー価格の高止まりや中国、米国などの景気低迷の影響などにより厳しい状況が続いている。
電気機械器具	・白物家電の2月の業界統計では、出荷金額は2か月連続のマイナス。白物家電への支出は引き続き低調にて推移。・大型冷蔵庫の生産は昨年並みであるが低調。メーカーは量よりも価格維持に注力している。 ・家庭用エアコンの生産はマイナスであるが、メーカーは中・高価格機種の拡販に注力している。 ・業務用エアコンは国内向け輸出向け共に低調が続いている。
輸送用機械器具	・多くの組合員企業が価格転嫁の見通しが立たず、賃上げの体力が不足している。 ・全体的には4輪車の生産が増えているが、受注部品の違いにより組合員にバラツキが出ている。価格交渉月間あたり労務費上昇分の協議が進められているが、人材確保の為に相応の賃上げは必須になっており協議の結果を注視している。

## 非製造業

セメント卸売業	・災害復旧関連工事が寄与して2か月ぶりに前年同月実績を上回ったが、通期では1%程度の微減となった。
鮮魚小売業	・売上高は前年より上回り、来客数も増加したが、長引く物価高の影響と消費者の節約志向により、客単価は落ち込んだ。また、人件費や原料・資材・エネルギー関連の負担増による収益面に関する不安要素が払拭されたわけではなく、先行きは不透明である。
野菜・果実小売業	・キャベツ、白菜、大根、レタスといった大型野菜が産地切替時期の長雨等の影響で品薄状態になり、価格が高騰した。
各種商品小売業	・屋間の人口が構造的に戻らないため、小店舗は継続が難しい。閉店が今後も増えていく。商店街振興組合も現状に合わないことが多く、数年後の発展的解散に向けて準備している。
	・宝飾、時計などの輸入品が値上がりしている。3月は、イベントや新入学の時期でもあり、売り上げに貢献した。3月21日に静岡県中部地域の静岡新聞に「逸品カタログ2024」を折り込み配布した。エコバッグは、カタログを見た方がお買い上げいただき効果が出ている。
	・3月末のセール(決算セール)が好調だったため、3月は売上高が5%ほどアップした。4月は行政主導のキャッシュレス決済ポイント還元事業が行われているため、消費拡大に期待したい。
宿泊業	・組合員旅館の宿泊人員は、前年比103.9%と増加した。春休み期間及び近隣のイベントの開幕もあり、ファミリー層を中心に好調であった。インバウンドのグループの予約も増えてきている。雇用状況は、引き続き人手不足の状況である。
	・春休みを中心に順調に推移したが、全体的に宿泊人員は減少傾向であった。物価の高騰により宿泊単価が上昇し、売上は増加したものの各種エネルギー価格や食材料費の値上げが収益を圧迫している状況が続いている。 慢性化した人手不足に伴い、団体の受け入れをセーブし個人客受け入れにシフトする傾向がみられる。
総合工事業	・土木、建築工事共に天候不順が続き、職人不足もあり現場を工期内に納めるのに苦労した。運送費の値上げにより資材価格も上昇している。
	・3月が決算月だが、仕掛かり物件が多いので、在庫量が増となり、それに伴い先払いが多く資金繰りが大変である。また、静岡県全体の物件数が少ないため、受注金額も下がっているため、利益率も下がっている。今年は我慢の年になりそう。
職別工事業	・年度替わり時期も要因となり、全体的に発注状況は鈍い。本格的な動きになるのは夏以降と思われ、一時期、辛抱を強いられる状況。価格は需給状況が悪いものの、据え置かれている模様。
道路貨物運送業	・米国原油在庫の大幅増加や中国の需要鈍化などの要因が原油相場の上値を抑えており、一時のような100ドル/バーレル越えには至っていない。国内では政府の補助金が夏まで延長するとの噂があるが現時点では不確定な情報。4月以降、各元売り各社が船賃や輸送所保管料などのコストを引き上げる予定であるため、それに伴う市況価格の上昇は避けられないと考える。
	・「2024年問題」に対応し運賃の上昇、従業員の給料を上げてきたが、人が入ってこない為、新規の依頼が来ても受けられない状態。
	・「2024年問題」への対策により、運行効率が低下しているため、運賃が多少上がっても資金繰りは良くない。仕事があっても人材不足のために運行できず、固定費比率があがっている状況。
道路旅客運送業	・令和6年2月はうるう年にあたるため稼働日数が1日多かったこともあり、運送収入及び輸送人員ともに前年同月を上回ったものの、日割で換算すると輸送人員は2%近く減少となっている。コロナが落ち着き各種支援措置の見直しなど先行きは厳しいものの、年度替わりで人の動きの活発化に期待するとともに、ドライバー不足の解消に向け引き続き各種支援を期待するところである。

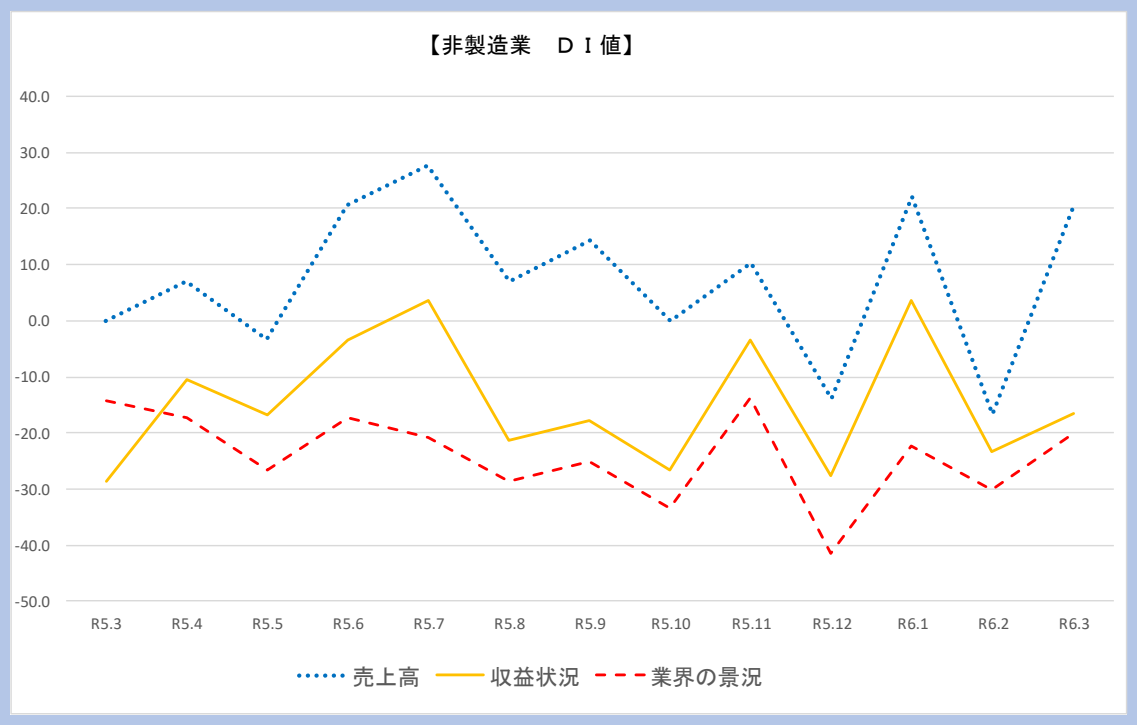
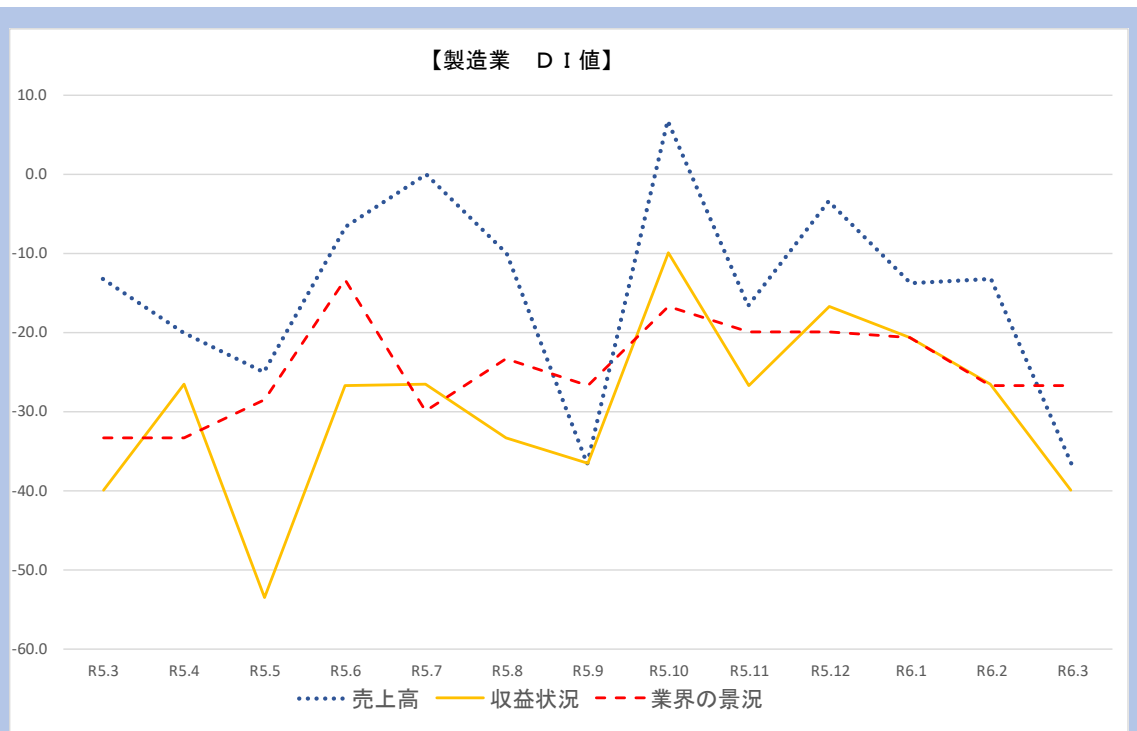
## 4. 主要三指標における DI 値の推移

■ 2023年3月期～2024年3月期までの推移

全体	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
売上高	-6.9	-6.8	-13.8	6.8	13.6	-1.7	-12.1	3.3	-3.4	-8.5	3.5	-15.0	-8.4
収益状況	-34.5	-18.7	-34.5	-15.2	-11.9	-27.6	-27.6	-18.3	-15.3	-22.1	-9.0	-25.0	-28.3
業界の景況	-24.1	-25.4	-27.6	-15.2	-25.4	-25.9	-25.8	-25.0	-16.9	-30.5	-21.4	-28.3	-23.3

製造業	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
売上高	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7
収益状況	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0
業界の景況	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7

非製造業	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
売上高	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0
収益状況	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6
業界の景況	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0



■ 2023年3月期～2024年3月期までの推移

売上高	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
製造業	-13.3	-20.0	-25.0	-6.7	0.0	-10.0	-36.7	6.7	-16.6	-3.4	-13.8	-13.3	-36.7
非製造業	0.0	6.9	-3.3	20.7	27.6	7.1	14.3	0.0	10.4	-13.8	22.2	-16.6	20.0

収益状況	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
製造業	-40.0	-26.6	-53.6	-26.7	-26.6	-33.3	-36.6	-10.0	-26.7	-16.7	-20.7	-26.6	-40.0
非製造業	-28.6	-10.4	-16.7	-3.5	3.5	-21.4	-17.9	-26.7	-3.4	-27.6	3.7	-23.3	-16.6

業界の景況	R5.3	R5.4	R5.5	R5.6	R5.7	R5.8	R5.9	R5.10	R5.11	R5.12	R6.1	R6.2	R6.3
製造業	-33.3	-33.3	-28.5	-13.3	-30.0	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-20.7	-26.7	-26.7
非製造業	-14.3	-17.2	-26.7	-17.2	-20.7	-28.6	-25.0	-33.4	-13.8	-41.4	-22.2	-30.0	-20.0

